

Catch up **滋賀医大** : **滋賀医大ニュースレター**
第6号

著者	滋賀医科大学
発行年	2009-04-06
URL	http://hdl.handle.net/10422/9098

Catch Up 滋賀医大

2009.04.06 平成 21 年 第 6 号



寄附講座「がん医療連携のための推進システム学講座 (総合がん治療学講座)」の設置に関する調印式

H21.04.06

本学では、滋賀県からの寄附を受けて寄附講座「がん医療連携のための推進システム学講座(総合がん治療学講座)」を設置します。

本講座は、がん専門医療従事者の養成を行うとともに、高度先進がん医療の研究成果について県内の病院へ普及し、がん医療の均てん化を行うことを目的として設置されます。

研究テーマは次のとおりです。

- 1.がん医療均てん化のための推進方策の研究
- 2.緩和ケア推進のための教育・研修実施体制に関する研究
- 3.高度先進がん医療の推進およびその教育・研修と臨床治験の推進

設置に先立ち、4月6日に滋賀県庁で馬場忠雄学長と嘉田由紀子滋賀県知事が出席し、「寄附講座の設置に関する協定書」の調印式が行われました。



握手を交わす
馬場学長と嘉田知事

クリエイティブモチベーションセンターを開所

H21.04.06



学生文化系課外活動団体の活動拠点

平成 21 年 4 月 6 日(月)、クリエイティブモチベーションセンターを新設し開所式を行いました。クリエイティブモチベーションセンターは、主に、学生文化系課外活動団体が、より充実した活動を行えるための総合的な活動拠点を構築することを目的に建てられたものです。

開所式には、教職員・学生など約 80 名の参加者があり、学長らによるテープカットのあと、センター内に移動し、オーケストラ部の演奏にあわせて参加者全員で学歌の斉唱を行いました。

附属病院に新厨房が完成！

H21.03.28

平成21年3月28日(土)、附属病院に栄養治療部新厨房が完成し移転を行いました。

厚生労働省が定める「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づき、ワン・ウェイ型の設計を取り入れ、衛生管理の徹底、十分な加熱調理、加熱調理後の温度管理等により配慮された厨房となりました。



衛生管理の徹底等に配慮された新厨房

外国人留学生との交流会「国際交流の夕べ」を開催

H21.01.07



外国人留学生等と親睦を深めました

平成21年1月7日(水)に、「国際交流の夕べ」と題して、滋賀医科大学に在籍する外国人留学生らとの交流会を開催しました。

交流会には、本学に在籍している外国人留学生、外国人研究者をはじめ、日頃ご支援いただいている関係団体、ボランティアの方々、教職員など、総勢74名が集い、親睦を図りました。

今年は留学生等によるバングラディッシュのカレーと中国餃子がふるまわれ、本場の味を堪能しました。

また本学管弦楽団と混声合唱団の学生による歌唱披露があり、最後に参加者全員で琵琶湖周航の歌を合唱するなど、和やかなひとときを過ごしました。

毎年恒例の本交流会は、本学の国際交流に係る様々な方々の交流の場となっています。

滋賀医科大学学外有識者会議を開催

H21.02.10

2月10日(火)、滋賀医科大学学外有識者会議を開催しました。当日は6名の委員及び顧問の岡本道雄(財)日独文化研究所理事長にご出席をいただきました。

学長挨拶の後、本学の活動状況をそれぞれ服部理事から教育・研究面について、柏木理事から病院・診療面について、村山理事から経営等につ

いて、また脇坂理事から総務・人事等について説明を行いました。

引き続き日高敏隆議長の進行のもと、各委員から、全人的医療の実践、地域と医療における大学の役割、女性医師への支援、卒業生の確保、助産師の養成、臨床医の姿勢、経営の効率化など、様々なご意見・提言をいただきました。



本学に対するご意見・提言をいただきました

<滋賀医科大学学外有識者会議 委員>

嘉田 由紀子[滋賀県知事]、目片 信[大津市長]、橋川 涉[草津市長]、浅野 定弘[(社)滋賀県医師会会長]、藤井 淑子[(社)滋賀県看護協会会長]、日高 敏隆[総合地球環境学研究所顧問]、曾我 直弘[滋賀県立大学学長]、小林 徹[オプテックス(株)代表取締役社長]、藤井 絢子[滋賀県環境生活協同組合理事長]、金子 均[同窓会副会長・労働衛生コンサルタント]、岡本 道雄(顧問)[(財)日独文化研究所理事長]

シンポジウム「認知症高齢者への支援」を開催

H21.02.14



シンポジウムの様子

本学では、地域貢献事業として障害者等支援のためのシンポジウムを毎年開催し、保健・医療・福祉関係の現場で働く人や当事者・家族の皆様にも積極的にご参加いただいておりますが、この度、2月14日(土)に大津市におの浜にある滋賀県立県民交流センター(ピアザ淡海)においてシンポジウム「認知症高齢者への支援」を開催いたしました。

今回のシンポジウムは、高齢化の進む我が国においての認知症高齢者を支える取組について現状と問題点を報告し、地域住民とともに、これからのシステム作りの方向性について

考えるという趣旨で実施いたしました。

当日は、医療福祉教育センター長 三ツ浪健一 教授の挨拶にはじまり、総合診療部 西山順滋 助教の司会進行の下、瀬田川病院副院長 宮川正治氏・龍谷大学社会学部准教授 西川淑子氏・滋賀県東近江地域振興局 中村恭子氏の3名のシンポジストによる医療・福祉・行政それぞれの立場からの講演の後、参加者らとシンポジストの間で質疑応答や活発な討論が行われ、充実したシンポジウムとなりました。

嘉田知事との対話「おじゃまします！知事です」が本学附属病院で実施されました

H21.02.17

2月17日(火)に、「おじゃまします！知事です」として、嘉田知事が本学附属病院を訪問されました。小児科病棟・NICUなどの見学後、「女性医師確保対策等について」をテーマに、附属病院の女性スタッフとの対話が行われました。

嘉田知事からは結婚・育児、仕事との両立についての質問などがあり、

対話は約30分間実施され、貴重な意見交換の場となりました。

また、当日は、びわ湖放送の取材班も訪れており、対話の様子は、2月21日(土)18:10～18:45の「県政週刊プラスワン」で紹介されました。



女性医師確保対策等をテーマに対話を行いました

附属病院でひなまつりコンサートを開催

H21.03.02



大正琴琴城流琴昇会による演奏

3月2日午後3時20分から、附属病院の玄関ロビーにて、例年ご協力くださる大正琴琴城流琴昇会による「ひなまつりコンサート」が行われ、入院患者さんをはじめ多くの方々が、大正琴の優雅な音色に耳を傾けました。

コンサートのしめくくりには、「琵琶湖周航の歌」が演奏され、来場のみなさんも配布された歌詞カードをみながら合唱され、会場に美しい歌声が響きわたりました。

会場には、びわ湖放送、ケーブルテレビ(ZTV)の取材班も訪れました。(放送:びわ湖放送「びびドキッ」3月2日 17:45～18:45、ケーブルテレビ(ZTV)「DAILY!かわら版」3月2日 18:40～19:00)

また、2月24日～3月3日には附属病院の玄関ロビーに花を顔に見立てたひな人形を飾りました。これは、患者さんに季節を感じてもらおうと、看護部華道部により製作されたものです。

平成20年度滋賀医科大学リーダーズ研修を実施

H21.03.04

去る3月4日(水)13時より、「平成20年度滋賀医科大学リーダーズ研修」を実施しました。この研修は、学生のサークル活動を有意義に発展させること、リーダーとしての自覚と認識を高めること、各サークルの相互理解を深めることを目的としています。

研修は、体育会系・文化会系の各課外活動団体の代表者(キャプテン)34名と、アドバイザーとしてゴルフ部顧問の堀江 稔教授(内科学講座)他計5名の教員が参加し、実施されました。

当日は、服部副学長の開講挨拶にはじまり、本学第2期生の江口 豊教授(救急集中治療医学講座)による急性アルコール中毒や救急蘇生に関する講演や同じく第12期生の朴真紗美氏による「学生時代のトレーニング」と題した自身の経験を踏まえた講演がありました。

また班別討議では自ら提案したテーマについて各班で現状や問題点について話し合うなど充実した内容の半日間となりました。



江口教授による救急蘇生講習

文部科学省 社会人の学び直し事業の修了式を実施

H21.03.10



服部理事より修了証書を授与



修了者との記念撮影

平成19年度採択の文部科学省社会人の学び直しニーズ対応教育推進事業における臨床心理士研修コースの修了式を実施しました。

精神医学講座の山田教授、小西助手を中心に実施された研修を4名が修了しました。

留学生等バス研修旅行を実施

H21.03.10

平成21年3月10日(火)に、留学生等のバス研修旅行を実施しました。今回は、トヨタテクノミュージアム産業技術記念館と名古屋城を訪れました。

トヨタテクノミュージアム産業技術記念館では、豊田佐吉が発明した織機から自動化・高速化された近代的な機械への変遷やその仕組み等を実際に織機を動かして説明していただき、また自動車の仕組みと構成部品や開発技術を展示物からみることができ、留学生たちは興味深く見入っていました。またテクノランドコーナーで

はいろいろな機械に使われている原理や機構を、楽しく体験することができました。

名古屋城では、尾張名古屋のシンボルといわれる金鯱をみて大きさに驚き、また満開の梅林からみる雄大なそして美しい天守閣の姿に感動しました。本丸御殿障壁画や表二之門等の重要文化財、復元された天守閣、金鯱など、日本の歴史にふれることができ、また外国人留学生、外国人研究者との間の交流も深まり、有意義な1日を過ごすことができました。



トヨタテクノミュージアム産業技術記念館にて

都市エリア産学官連携促進事業(発展型)平成20年度 研究成果報告会を行いました

H21.03.18



来見准教授による成果報告

本学では、平成19年度から3年間の計画で滋賀県において採択された「文部科学省都市エリア産学官連携促進事業(発展型)-びわこ南部エリア-」を実施しています。

本事業は、がん患者さんの腫瘍摘出手術をターゲットに「悪性腫瘍部位の特定」「術中の腫瘍の悪性度の確定診断」「従来の体腔鏡では到達が困難な部位に対する悪性腫瘍の摘出」等、一連の治療が手術室などオンサイトで迅速に実現できる「患者負担軽減のためのオンサイト診療システム」の実現を目指すものです。

本報告会は、本年度実施した研究開発の成果および進捗状況を広く県内

企業等に公表・普及することにより、産業応用への関心を高めるとともに、びわ湖南部エリアの産学官連携活動による新事業創出の促進を目指し、平成21年3月18日(水)琵琶湖ホテルで行われました。

本学からは、外科学講座 来見良誠准教授が「悪性腫瘍部位の特定」に関する「体腔鏡手術ロボット技術の開発研究」について、MR 医学総合研究センター 犬伏俊郎 教授が「従来の体腔鏡では到達が困難な部位に対する悪性腫瘍の摘出」に関する「ナノ粒子診断技術の開発研究」について、平成20年度研究成果報告を行いました。

平成20年度滋賀医科大学卒業式及び学位授与式を 挙行し、203名の門出を祝いました

H21.03.25

平成20年度卒業式が、3月25日(水)に本学体育館で挙行され、医学科学生94名、看護学科学生68名が卒業しました。

卒業式では、学位記の授与に続き、馬場学長から告辞があり、「入学時に提出した決意書を本日手元にお返しします。初心を忘れることなく、その達成を目指し、日々努力を重ねてください。」と激励しました。卒業生代表の謝辞で幕を閉じ、閉式後は記念撮影を行いました。

午後からは、管理棟2Fの大会議室に場所を移して大学院学位授与式が挙行され、29名に博士(医学)の学位記が、12名に修士(看護学)の学位記が学長よりそれぞれ授与されました。

引き続き、各賞の授与式が行われ、馬場学長及び柏木病院長から賞状と記念品が手渡されました。



(上) 医学部 卒業式
(下) 大学院 学位授与式

<各賞の受賞者>

学長賞	優れた学位論文に対して表彰	博士課程: 門田 文、山田英人 修士課程: 酒井美也子、三林聖司
研究奨励賞	第25回滋賀医大シンポジウムにて決定	若点賞: 瀧本竜哉 奨励賞: 池田瑞穂 審査員特別賞: 藤岡美絵、出路奈緒子
ベストティーチャー賞	学部教育に顕著な成果をあげた教員に対して表彰	江口 豊(救急集中治療医学講座)
Doctor of the Year2008	患者さんから高い評価を得た研修医に対して表彰	牧野 綾

平成 21 年 4 月～6 月の行事予定

4 月 7 日	入学式
4 月 12 日	滋賀県脳卒中市民公開講「脳卒中の予防」
5 月 15・16 日	浜松医科大学との学生交流会
5 月 30 日	解剖体慰霊法要

大学概要



所在地：
〒520-2192
滋賀県大津市瀬田月輪町

開学：
1974年10月1日

活動内容：
教育・研究・診療

役員：
学長 馬場忠雄
理事（教育等） 服部隆則
理事（医療等） 柏木厚典
理事（経営等） 村山典久
理事（総務等） 脇坂信夫



担当

企画調整室

TEL: 077-548-2012
FAX: 077-543-8659

本学 Web サイト URL:
<http://www.shiga-med.ac.jp/>

E-MAIL:
hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

報道された滋賀医科大学 (平成21年1月～平成21年3月)

教育関係

2009.03.28	読売	医師国家試験合格率 91%
2009.03.22	京都	白い帆なびかせ湖上スーイスイ
2009.02.27	京都	国立大学入試 2次試験 前期 問題と一部回答例
2009.02.25	京都	春へ大一番 1万4000人が京滋で受験(前期試験)
2009.02.05	京都	国立大各2次最終志願者
2009.02.05	京都	2次倍率は4.2倍
2009.01.31	京都	国立大学2次中間志願者数
2009.01.31	京都	ノーベル賞学者の母校脚光 志願者増加
2009.01.22	中日	センター試験 主要大学
2009.01.19	各紙(3紙)	センター試験始まる 6200人挑む
2009.01.19	日経	最後は験担ぎ 受験生本番

研究関係

2009.02.06	朝日	炭水化物、食後の血糖値に違い
2009.01.27	中日	夢のiPS細胞 医療応用の道 不妊治療どこまで

病院関係

2009.03.31	読売	野州病院が院内学級閉鎖
2009.03.20	京都	周産期医療の課題探る
2009.03.14	報知	公的病院の連携を探る(東近江フォーラム)
2009.03.13	京都	周産期医療テーマ 19, 20日学術総会
2009.03.10	日経	イベントリスクの高い糖尿病
2009.03.10	各紙(4紙)	東近江地域の病院連携探る(東近江フォーラム)
2009.03.10	中日	地域医療 課題出し合う(東近江フォーラム)
2009.03.08	京都	医療施設の地域連携解説(東近江フォーラム)
2009.03.03	産経	妊娠リスク評価 活用わずか3割
2009.02.27	京都	がん診療の拠点に県成人病センター
2009.02.23	中日	医師不足の壁厚く
2009.02.20	読売	樹状細胞によるがん治療(寺本先生)
2009.02.09	日経	通勤時間、睡眠を削る
2009.02.07	毎日	未来育て第4部(産科オープンシステム)
2009.01.13	日経	病を知る しびれ 糖尿病性神経障害(安田教授)
2009.01.11	読売	病院の実力 滋賀編 _ 頭頸部がん
2009.01.09	毎日	内科医増員、入院受け入れ再開へ
2009.01.01	各紙(2紙)	滋賀医大 医師の派遣増員

社会連携関係

2009.03.06	京都	炎症性腸疾患 最新の治療など紹介
2009.03.04	京都	歯の市民公開講座 8日に大津で開催
2009.01.10	毎日	市民公開講座:患者急増「炎症性腸疾患」12日下京区で開催

管理運営

2009.03.30	朝日	低評価の大学、不満の声 国立大の評価結果公表
2009.03.02	朝日	学長 誰が選ぶ?